

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位：千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
3	総務課	職員給与の支給	職員数の削減や、特殊勤務手当の見直し等実施し給与等の適正化を図る。	職員	職員給決算額(一般会計) H27年度 4,024,322千円 H28年度 3,878,993千円 H29年度 3,979,910千円 ラスパイレス指数 H27年度 97.8 H28年度 97.7 H29年度 97.3	3,979,910 (3,979,910)	3,939,441 (3,939,441)	見直し	見直し	第3次定員適正化計画に基づき、職員数の削減を行う。また、特殊勤務手当の見直し等に取り組む。 H28.4.1 職員数 594人 H29.4.1 職員数 587人 H30.4.1 職員数 573人
7	情報推進課	自主制作番組放送・制作委託事業	情報通信基盤を活用して、市民が行政情報を迅速・的確に得ることができるような状態にする。	市民 (CATV加入世帯)	CATV加入世帯数 H27年度末 10,144世帯 H28年度末 10,084世帯 H29年度末 10,079世帯	22,629 (22,629)	24,209 (24,209)	見直し	見直し	平成29年6月から、放送形態を変更。 (変更前) 1チャンネル貸切：3時間枠を1日7回放送 (変更後) 各社のチャンネルを2時間借用：1日1回放送 ⇒H28・H29比較/決算ベース：▲2,049千円 CATVとのすみ分けやさらなる予算削減を考える場合、県政番組スタイルが望ましい(3分番組を週1本放送など)。今後、市民のニーズを確認しながら方向性を検討する必要がある。
7	情報推進課	映像配信システム機材のリース事業	自主制作番組をデジタルハイビジョンで放送する。	市民 (CATV加入世帯)	CATV加入世帯数 H27年度末 10,144世帯 H28年度末 10,084世帯 H29年度末 10,079世帯	796 (796)	415 (415)	現状維持	見直し	平成29年6月から配信を廃止。編集システムのみリース。デジタルハイビジョン画質の番組パッケージを、HDDを用いて各CATVに届ける仕組みに変更する。 ⇒H28・H29比較/決算ベース：▲2,838千円 編集機器リースは、平成34年5月に終了。編集機器リース廃止について検討の余地がある。
9	情報推進課	電算共同化システム維持管理事業	共同化システムを利用することで、運用に係る費用を大幅に削減し、行政事務を効率的かつ円滑に行うことができる。	市民、職員	当システムの使用により膨大な業務を、最小の職員数で即時に行うことができる。また、パッケージソフトウェアを活用することにより低コストで、運用性及び保守性の高い効率的な業務を行うことができる。	37,777 (37,777)	37,789 (37,789)	現状維持	見直し	平成31年度にハードウェアの更新、および住民情報、健康管理など一部の業務システムをクラウド化する予定である。このことにより、従来通りサーバを自庁へ設置する方式よりハードウェアの規模が縮小でき、更新費および5年間の維持管理費の総額が600万円程度削減できる見込みである。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位：千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
9	情報推進課	光情報通信網運営事業	五島市光情報通信網を維持管理する。	e-むら事業エリア内の市民	地理的・時間的な情報格差の解消 対象世帯数 H27年度末 8,329世帯 H28年度末 8,235世帯 H29年度末 8,087世帯	187,514 (43,622)	206,866 (47,779)	現状維持	見直し	年間の維持管理経費に約85,000千円を要していること、設備更新等に相当な経費がかかることなどから、管理方針を見直した結果、平成31年4月に民間企業へ譲渡する。
15	社会福祉課	市社会福祉協議会運営費等補助金	五島市社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を目指し、地域住民やボランティア、社会福祉・保健・医療等の関係者、行政等の協力を得ながらともに考え実行していく民間の社会福祉団体であるが、財政的基盤が脆弱なため、地域福祉に関する人件費等の補助を行う。	五島市社会福祉協議会、市民	老人福祉推進事業 ふれあいいきいきサロン参加者数 H27年度 7,380人 H28年度 6,940人 H29年度 7,103人 青少年福祉推進事業 市内各小中高生を対象にした福祉体験学習の参加者数 H27年度 735人 H28年度 309人 H29年度 493人 総合福祉推進事業 GOTOふれあいまつり参加者数 H27年度 400人 H28年度 250人 H29年度 600人 各種募金活動の実施	89,952 (89,952)	92,245 (92,245)	見直し	見直し	高齢化が進む中で、社会福祉協議会が行っている地域福祉に関連する各種事業が益々重要となってはいるが、本年度も昨年度に引き続き、補助対象事業費等について社会福祉協議会と協議する。
17	社会福祉課	生活館管理運営事業	生活館は、地域住民の生活の安定向上に資するための施設である。玉之浦地区に3ヶ所(中須、小川、布浦)、三井楽地区に3ヶ所(高崎、岳、濱窪)ある生活館について指定管理者に管理を委託する。	地域住民	生活館利用者数(6施設合計) H27年度 2,715人 H28年度 3,702人 H29年度 3,290人	214 (214)	329 (329)	見直し	見直し	公共施設等総合管理計画により、集会施設の整理・統廃合のあり方について見直しを進めている。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位: 千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
17	社会福祉課	富江地域福祉センター管理運営事業	地域住民の福祉ニーズに応じた各種相談、研修事業等を行うため、指定管理者に施設の管理運営を委託する。	地域住民、指定管理者	施設利用者数 H27年度 12,919人 H28年度 11,689人 H29年度 13,204人	1,816 (1,816)	2,124 (2,124)	見直し	見直し	民間移譲も含めて、関係者と引き続き協議を行っていく。
21	社会福祉課	保育体制強化事業費補助金	保育士の負担軽減のため、保育支援者を配置し、保育士の離職防止を図り、質の高い保育を提供できる環境を整備する。	保育支援者を配置する保育所等	保育支援者の配置園数 H27年度 11園 H28年度 国・県補助対象外により未実施 H29年度 補助対象園無し	0 (0)	8,280 (2,070)	現状維持	見直し	保育士の負担軽減を図る上で必要な事業であるが、近年、国の補助要件を満たすことが困難で予算執行等に至っていない。
21	社会福祉課	3世代同居・近居促進事業補助金	安心して子どもを産み育てることができる住まい及び居住環境を整備するため、新たに3世代で同居・近居するために住宅を新築・改修・取得する者に対して助成する。	子育て世帯を含む3世代で、新たに同居・近居する者	申請件数 H28年度 0件 H29年度 9件	3,600 (914)	6,000 (1,650)	—	見直し	平成28年度より、県補助金及び国交付金を活用して事業を実施しているが、県補助金が平成30年度で見直しとなるため、助成内容の見直しを行う必要がある。
59	国保健康政策課	特定健康診査のインセンティブ事業(ポイント事業)	特定健康診査の受診率向上を目指して、個人に対するインセンティブを行うため、受診した者に参加賞としてゴミ袋を、特定健診とがん検診2種を併せて受診した者1,250名に特産品を贈呈している。	特定健診とがん検診2種を受けた個人	特産品贈呈した者 H28年度 1,250名 H29年度 1,250名	4,332 (4,332)	4,850 (4,850)	—	見直し	平成28年度から継続して実施しているが、アンケート調査等によれば、受診率の向上に直接つながっているとは言い難い面もあるため、他市町村を参考にして、受診率向上につながる事業を検討する。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位：千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
65	生活環境課	飲料水供給施設管理事業	施設管理は設置者自ら行うのが原則であるが、過疎高齢化で管理困難地区について行政が支援し、飲料水の安定供給を行う。	給水を受ける地区住民	水質検査等 市小木、野園、猪掛地区	505 (505)	1,657 (1,657)	拡大	見直し	過疎高齢化により、受益地区住民による維持管理が困難であり、今後も同様に継続すべき事業である。平成30年度においては、既存施設整備事業(単年度)のため事業費が増加したが、多様なニーズに対応した事業内容とするため、見直しとする。
65	生活環境課	市有墓地維持管理事業	市有墓地を適正に管理する。	奈留地区市民等	墓地使用者の快適な環境が維持される。	394 (394)	538 (538)	見直し	見直し	市有墓地施設の維持管理に必要な経費であるが、奈留墓園については、全ての維持管理を市が実施しており、他地区との均衡を保つため利用者による自主管理、もしくは一部負担などを検討する必要がある。現在、使用者の死亡による承継申請書の提出を促しているが、自主管理等の検討までには至っていないことから、見直しとする。
67	生活環境課	ごみ処理施設管理運営事業 【富江クリーンセンター】	市内で発生した可燃ごみの適正処理を行う。	市民	焼却処理量 H27年度 1,480ト H28年度 1,119ト H29年度 1,153ト	48,457 (48,457)	39,250 (39,250)	現状維持	見直し	新たなごみ処理施設へ移行するまでは、これまでと同様の事業を計画しているが、移行後は資源ごみの中継受入や剪定枝の有効活用、漂着ごみの破碎等を実施するための施設としての活用を計画していることから、見直しとする。
69	商工雇用政策課	巡回バス運行事業費補助金	路線バスが通わない住民の交通手段の確保及び商店街のにぎわい創出のために、巡回バス運行事業実施主体である福江市中心商店街巡回バス運行協議会に対し補助金を交付する。	バス利用者	路線バスが通わない住民の交通手段が確保される。 (4コース運行、運賃：大人200円、子ども100円) 利用者 H27年度 11,733人 H28年度 11,240人 H29年度 10,232人 (日曜日を運休)	4,638 (4,638)	6,000 (0)	拡大	見直し	平成29年10月から地域公共交通再編実施計画に基づき、郊外店へのルート延伸によるサービスの向上を図ったが、再編前よりも利用者が減少した。今年度実施している利用満足度調査の結果を考慮して、今後のあり方について見直しを図る。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位: 千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
71	商工雇用 政策課	路線バス維 持費補助金	市民の日常生活におけ る利便性の確保。 五島自動車(株) 32路 線 丸濱産業(有) 5路 線	バス利 用者	利用者、市補助金実績額 ○五島自動車(株) H27年度 423,821人 82,953千円 H28年度 406,580人 92,899千円 H29年度 359,880人 99,143千円 ○丸濱産業(有) H27年度 11,421人 18,000千円 H28年度 14,582人 17,999千円 H29年度 13,231人 15,706千円	114,849 (114,849)	117,565 (117,565)	見直し	見直し	五島自動車(株)への補助金が増加傾向にあり、 欠損額への補助という性質上、今後も補助金 の増大が懸念される。 補助金交付要綱の改正を検討する。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位：千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
73	商工雇用 政策課	新生活交通 維持費補助 金	交通不便地域の移動手段が維持され、住民の交通生活を確保する。運行事業者及び路線数 ・三井楽半島バス 4 路線 ・岐宿乗合タクシー 1路線 ・奈留島地区デマンド 型乗合タクシー 5路 線 ・久賀島地区乗合タク シー 4路線	地域住 民・バ ス等利 用者	利用者数、市補助金額 ○三井楽半島バス H27年度 4,794人 8,107千円 H28年度 4,848人 6,875千円 H29年度 5,203人 8,809千円 ○岐宿乗合タクシー H27年度 174人、444千円 H28年度 98人、287千円 H29年度 181人、420千円 ○奈留島地区デマンド型乗合 タクシー H27年度 382人、551千円 H28年度 390人、198千円 H29年度 440人、275千円 ○久賀島地区乗合タクシー H27年度 1,938人 1,366千円 H28年度 1,749人 1,912千円 H29年度 1,758人 1,923千円 ○富江地区乗合タクシー (H29.10月～再編計画に基づき 運行開始) H29年度 964人、3,300千円 奥浦地区乗合タクシー (H29.10月～再編計画に基づき 運行開始) H29年度 3人、4千円	13,206 (13,206)	21,589 (21,589)	拡大	見直し	平成29年10月から地域公共交通再編実施計画に基づき、富江、岐宿、奥浦地区に乗合タクシーを導入したが、当初の見込みより利用者が少ないため。今年度実施している利用満足度調査の結果を考慮して、今後のあり方について見直しを図る。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位：千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)		
			目的	対象者	効果				今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
73	商工雇用 政策課	五島市地域 公共交通活 性化再生協 議会負担金	五島市地域公共交通網 形成計画及び再編実施 計画の策定並びに各計 画における事業評価を 行い、地域公共交通の 充実を図る。	地域公 共交通 機関利 用者 交通事 業者	地域公共交通の見直しを図 るための計画書の策定及び その事業評価の実施 H28.4 地域公共交通網形 成計画策定 H28.7 地域公共再編実施 計画策定 市負担金額 H27年度 3,926千円 H28年度 3,145千円 H29年度 3,978千円	3,978 (3,978)	4,143 (4,143)	拡大	見直し	平成28年度に策定した地域公共交通再編実施 計画の利用満足度調査を考慮し、平成33年10 月に策定予定の次期計画に向けた調査や計画 の策定を行う。	
73	商工雇用 政策課	公設小売市 場事業 (公設小売 市場事業特 別会計)	小売業又は飲食店を営 む者の経営の安定向上 を図るとともに、市民 の消費生活の利便に資 する。	市場利 用者	入居状況 H27年度 5店舗 H28年度 5店舗 H29年度 5店舗	4,153 (2,209)	5,382 (3,079)	現状維持	見直し	今年度、市場のFS調査を実施しており、市場 活性化推進計画書を策定し、その計画書に 沿って市場の活性化を図る必要があるため。	
81	観光物産 課	販路拡大活 動補助金	市内の事業者の商品が 全国各地で販売される ことで、事業者所得の 向上に繋げる。 商談会に参加するため の旅費の一部を助成す ることで、事業者が商 談会に積極的に参加で きるようになり、大手 スーパーなどの取引 が増加している。	事業 者、生 産者	参加事業者数 H27年度 5業者 H28年度 4業者 H29年度 2業者	30 (15)	150 (75)	現状維持	見直し	バイヤー招聘の折等にも商談会の実施が可能 であること等から、今後見直しの方向で検討 する。	
83	観光物産 課	五島市宿泊 施設連絡協 議会負担金	観光による交流人口拡 大及び地域振興を図る ため、市内宿泊施設間 の連絡調整による受け 入れ体制の整備並びに 誘客活動の推進を図 る。	宿泊事 業者	市が宿泊関連の施策をする 際の協議窓口となる。 市内宿泊施設間の連絡調整	200 (200)	200 (200)	現状維持	見直し	他の事業等において集約が出来ないかも含め て、見直しを検討する。	

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位：千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
83	観光物産課	長崎五島 ツアー マーチ開催 事業	全国の歩く仲間との交流を深め、自然愛護の精神の高揚と歩け歩け運動の振興に寄与する。	参加者	参加者数 H27年度 110人 H28年度 102人 H29年度 88人	300 (300)	300 (300)	現状維持	見直し	島外からの参加者状況等も含めて、関係機関と見直しを検討する。
83	観光物産課	観光イベント 協力隊事業	イベントの準備・運営及び五島市の宣伝活動を実施することで誘客促進を図る。	観光客	H27年度 チョイ旅等情報発信、観光イベント対応など 28年度 観光イベント対応、観光HP更新作業など 29年度 観光イベント対応、観光HP更新作業など	1,531 (1,531)	1,705 (1,705)	現状維持	見直し	イベントの準備、運営及び宣伝活動を実施するために配置が必要であり、現状の臨時雇用から任期付短時間勤務への雇用形態の変更を検討する。
89	スポーツ振興課	スポーツ愛 ランド推進 事業費補助 金	著名講師を招聘してのスポーツ教室の開催や、スポーツイベントの誘致により、スポーツによるまちづくり及び地域活性化を推進する。	実行委員会、 市民、 来島者	県大会等の誘致、著名人によるスポーツ教室の開催 H27年度 1大会 4教室 H28年度 1大会 5教室 H29年度 4大会 4教室	2,180 (0)	7,820 (0)	現状維持	見直し	今後も、スポーツ愛ランド五島としての知名度アップのため、スポーツ交流推進事業と歩調を合わせ、継続して実施していくため。ただし、公式戦等の誘致については、見直しも検討する。
91	スポーツ振興課	体育館管理 運営事業	スポーツ・レクリエーション活動ができる施設が市民の身近にあり、市民が積極的に利用する施設を確保する。 (戸岐体育館・玉之浦体育館・三井楽体育センター・奈留総合体育館)	市民、 施設利用者	利用者 H27年度 12,629人 H28年度 13,856人 H29年度 12,255人	6,787 (6,787)	5,917 (5,917)	見直し	見直し	現在スポーツ施設として使用されているものは、玉之浦体育館と奈留総合体育館のみである。各施設の今後の方向性については、現在、五島市公共施設等総合管理計画部会で検討を行っている。利用率の悪い施設や老朽化が進む施設については、解体も含めた施設の廃止を検討する。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位:千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
93	農業振興課	担い手育成 確保特別対 策事業	農業後継者の育成・確保を図るため、農業研修生に対する農業研修を実施する一般社団法人五島市農林総合開発公社に対して、研修に係る研修支援手当及び公社運営費等を助成する。	一般社 団法人 五島市 農林総 合開発 公社	修了生 H27年度 1名 H28年度 1名 H29年度 4名	402 (402)	0 (0)	現状維持	見直し	後継者の確保・育成に関する事業であり、一般社団法人五島市農林総合開発公社(以下「公社」という。)が本事業に基づき行っている農業研修については、研修生の応募が減少している。公社の研修生が減少した要因として、農業経営の独立型から収入が安定している農業法人等への雇用を望む新規就農者が増加していることや五島市は離島であるとともに都市部から離れていて、同じ就農するならば都市圏に近いところ望んでいることが考えられる。
99	農業振興課	産品セン ター鬼岳四 季の里管理 運営事業	五島市農産物の産地イメージの強化や、地元産物を利用した特産品の開発、販売促進を図る。	指定管 理者	入場者数 H27年度 16,631名 H28年度 15,938名 H29年度 17,566名 体験イベント参加者数 H27年度 1,145名 H28年度 889名 H29年度 885名	7,173 (7,173)	6,537 (6,537)	見直し	見直し	地元農産物を利用したイベント等を開催し、販売促進を図っている。平成33年度から近隣施設である「鬼岳天文台」と併せて指定管理を行う予定となっている。また、「公共施設等総合管理計画」の策定において、今後の方針として「民活化」という一定の方向性は示しているが、詳細については、今後検討することとなっている。
105	農林整備課	森林整備地 域活動支援 交付金	計画的な森林整備を実施するために、森林経営計画の策定に必要な地域での活動経費を支援する。	長崎県 林業公 社、五 島森林 組合	事業内容 施業集約化と森林経営計画 作成促進	3,914 (867)	2,280 (570)	現状維持	見直し	平成30年度に国の補助対象メニューが見直され、平成29年度まで長崎県林業公社が実施していた施業集約化の促進活動が除外されたため、本年度より事業を実施する事業体は五島森林組合のみとなった。なお本事業については、低コストで効率的な森林整備の推進を図るために、継続して支援する必要がある。
105	農林整備課	森林環境保 全整備事業	森林の持つ多面的機能の発揮と良質な地域材の地産地消のため、利用間伐、作業道の開設を行う。	森林所 有者	事業量 H27年度 50.45ha (4,244m) H28年度 55.97ha (6,412m) H29年度 20.27ha (1,705m)	14,850 (2,204)	19,010 (2,807)	現状維持	見直し	学校等の大規模な公共木造建築物が予定されていないことから、大面積の利用間伐を見直し、適時適切な森林整備を実施するため利用間伐と併せて手遅れ森林の解消のため、切り捨て間伐を実施していく必要がある。また利用間伐により搬出された材については、今後も使えるものは使い利用率を向上させる。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位：千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
117	建設課	市道単独道路整備事業 (単独) 【黒瀬～職人線】	本市にとって、一体的な新市の形成と地域住民の安全性と快適な街づくりは市総合計画の目的のひとつである。主要幹線道路に接続する道路網の整備は住民相互の一体性を育むには欠かせないものである。また、住民の通行の安全を図り、他地域との均衡ある安全で快適な生活ができるまちづくりを行うため、道路整備、排水路整備を実施する。	利用者	黒瀬～職人線 全体事業規模 L=174m W=5.5m 事業期間 H25年度～ 他地域との均衡あるまちづくり	0 (0)	0 (0)	見直し	見直し	用地交渉は継続して行い、用地取得の見込みが立った時点で事業を行いたい。
119	建設課	市営住宅維持管理事業	住宅に困窮している低所得者に対し、低家賃の住宅を提供することによって安定した住環境を確保する。	住宅に困窮している低所得者	管理戸数 569戸 維持管理経費 H27年度 20,939千円 H28年度 24,725千円	25,249 (0)	28,460 (0)	見直し	見直し	市営住宅の中には、築年数の経過とともに老朽化が進み、維持管理に多額の経費を要するところがあり、今後の人口動向、市営住宅に対する需要を勘案しながら市営住宅の廃止及び統合等を検討する必要がある。
119	建設課	単独住宅維持管理	住宅に困窮している低所得者に対し、低家賃の住宅を提供することによって安定した住環境を確保する。	住宅に困窮している低所得者	管理戸数 30戸 維持管理経費 H27年度 216千円 H28年度 105千円	295 (0)	383 (0)	縮小	見直し	単独住宅は、老朽化した住宅が多く、再利用するためには多額の経費を要するため、五島市公営住宅等長寿化計画に基づき、計画的に用途廃止を進めていく予定である。
121	管理課	公園等管理事業	観光交流人口の増加、自然体験及び教育の推進並びに市民の健康の増進を図る。観光客及び市民憩いの場として利用することができる。 (実施箇所 84箇所)	観光客及び市民	公園等管理経費 H27年度 66,093千円 H28年度 65,488千円 H29年度 67,582千円	67,582 (52,131)	72,739 (56,756)	縮小	見直し	各公園等の管理については、安全確保と適切な施設の維持管理が必要であるが、公園管理の基本方針が無い状況である。そこで、公園管理計画を策定し、方針に沿った管理を実施し、個別計画により公園の維持・廃止や施設遊具の更新・撤去などの方針を定める必要がある。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位：千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)		
			目的	対象者	効果			前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今後の 方向性	今後の 方向性
129	学校給食センター	学校給食センター管理運営事業	衛生管理基準に適した施設の維持管理に努め、児童生徒に対して地元産の食材を多く利用した安全で安心な給食を提供する。	児童生徒、保護者	地元産使用割合 H27年度 53.8% H28年度 49.0% H29年度 51.5%	302,695 (302,695)	298,059 (298,059)	見直し	見直し	現在5施設（福江、富江、三井楽、奈留、久賀）で対応しているが、施設の効率的運営及び衛生管理の徹底を図る観点から、老朽施設の廃止・統合を検討する。
137	生涯学習課	山本二三美術館管理運営事業	五島市出身で世界的な評価を受けるアニメーション美術家の山本二三氏の功績を称えとともに作品を常設する建物（美術館）を建設することで、観光客誘致並びに文化振興・地域活性化を図る。	市民、観光交流者	平成29年度 完成 平成30年4月1日 指定管理の契約締結 平成30年7月1日 開館 来館者数 平成30年度：5,004人 (H30.9月末現在)	134,191 (6,877)	11,476 (11,476)	拡大	見直し	整備事業が終了したことから、今後管理運営事業として誘客事業を強化し、観光振興・文化振興・地域活性化を図っていく必要がある。
139	生涯学習課	奈留芸能館管理運営事業	生涯学習活動施設である社会教育施設の維持管理を行う。（郷土芸能・鳴る神太鼓保存会活用）	市民（太鼓保持団体等）	郷土芸能保持団体の活動の場として活用され、郷土の無形民俗が保存継承される。1団体が使用。	28 (0)	27 (0)	見直し	見直し	郷土芸能鳴神太鼓は、後世へ引き継ぐべき地域の伝統文化である。それを保持保存する団体の活動の場として有効活用されており、その施設の維持管理費については、年度払いで団体が負担することとしている。
139	生涯学習課	玉之浦地区集会所管理事業	指定管理制度を導入し、地区住民の集いの場として維持管理を行う。	地区住民	地区住民の集いの場として活用されている。浄化槽の維持管理に伴う手数料・委託料を支出。	130 (130)	93 (93)	見直し	見直し	現在、地区への譲渡も含めて検討している。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位:千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一 般財源)	30年度 予算額 (うち一 般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の 方向性	今後の 方向性	左の方向性の理由
139	生涯学習課	公民館活動事業	住民が安心して生涯学習や公民館活動が行えるように、中央公民館・13の地区公民館、4分館の維持管理及び活動経費、改修補修等の経費と町内公民館の施設整備にかかる助成等を行う。	市民	中央公民館、13地区公民館の延べ利用者数 H27年度 136,212人 H28年度 104,538人 H29年度 115,194人	71,833 (71,419)	89,316 (86,209)	見直し	見直し	人口が減少し、市の財政が厳しくなる中で、地区住民センター(9施設)、公民館(14施設、4分館)、生活館(6施設)等の類似施設のあり方(特に4分館)を検討する必要がある。
141	生涯学習課	モンパルナス構想推進事業	笠松記念館を拠点として、芸術家、芸術家志望者、美術愛好家及び児童・生徒が、定住、長期滞在、美術学習できるアートビレッジ(芸術村)を奈留島に創設する構想であり、芸術・文化の振興と新たな観光資源として交流人口の拡大を図る。	五島市内の芸術家、芸術愛好家、市外在住の方のうち、左記目的に賛同する芸術家、芸術愛好家	笠松記念館入館者数 H27年度 1,765名 H28年度 1,149名 H29年度 726名 イベント(ワークショップ、音楽会等)件数、展示件数 H27年度 イベント件数6件 展示件数2件 H28年度 イベント件数8件 展示件数2件 H29年度 イベント件数7件 展示件数2件 滞在アーティスト数 H25~29年度 1名	4,617 (4,514)	4,748 (4,746)	現状維持	見直し	継続的なイベントの開催及び情報発信等を行いながら、他事業・団体との連携による相乗効果の検討及び事業廃止を含めた見直しについて検討を行う。

●見直し事業 (平成30年度事業評価一覧表 別紙)

(単位:千円)

ページ	担当課名	事業名	事業の概要			29年度 決算額 (うち一般財源)	30年度 予算額 (うち一般財源)	前回事業評価内容 (平成28年度実施分)	今回事業評価内容 (平成30年度実施分)	
			目的	対象者	効果			今後の方向性	今後の方向性	左の方向性の理由
147	三井楽支所	三井楽万葉まつり開催事業	遣唐使船最後の寄港地として、万葉の地域との関わりや交流の史実をふまえ、その魅力や価値を再認識することを目的とし、「高崎高原」、「柏崎公園」、「尼御前」など万葉にゆかりのある地をめぐる。また、遣唐使ふるさと館では、万葉短歌の展示、万葉朗唱会、万葉いろはかるたなどを行う。	市民、観光客	参加者 H27年度 1,195人 (まつり135人、展示会1,060人) H28年度 865人 (まつり63人、展示会802人) H29年度 1,435人 (まつり200人、展示会1,235人)	620 (620)	4,473 (0)	現状維持	見直し	今後も事業の見直しを行いつつ、「名勝地」・「日本遺産」を有効活用した事業を展開し、「万葉の里三井楽」を広く発信していく。